

平成28年度愛媛大学共通教育貢献賞被表彰者

氏名，所属及び職名	<p>野本 ひさ 愛媛大学教育・学生支援機構教授 橋本 巖 愛媛大学教育学研究科教授 糸岡 夕里 愛媛大学教育学部准教授 上田 敏子 愛媛大学教育学部講師 小林 直人 愛媛大学医学系研究科教授 垣原登志子 愛媛大学教育・学生支援機構講師</p>
選考基準の該当事項	<p>愛媛大学共通教育貢献賞実施要項第3条第1号（授業方法の開発又は優れた授業の実践に顕著な貢献があった場合）</p>
選考理由	<p>共通教育初年次科目「こころと健康」は、すべての新入生が履修し、数多くの教員が担当する本学有数の大規模な必修科目である。本授業は、新入生が、多様化する健康に対する考え方を理解し、心身ともに健全な学生生活を継続的に送ることができるよう、健康に対する基本的な知識とライフスキルを心・体・食の観点から広く学ぶことを目的とし、特に4つのユニット「青年期のこころ」「スポーツ」「生活の医学」「食と健康」を基軸に授業を展開している。</p> <p>授業は様々な学部の100名近い教員がオムニバス形式で担当しており、共通教育センター初年次科目部会「こころと健康」チームが運営に当たっている。その中で特に中核的な役割を担うのは、チームリーダーと各ユニットを統括する教員である。チームリーダーの野本ひさ教授および歴代のユニット統括教員5名は、2009年度の開講以来、長年にわたりこの大規模科目の企画・運営に尽力してこられた。ユニット統括教員は各ユニットの授業内容を設計し、授業担当教員間の連携を図りながら、全クラスの授業をコントロールしている。チームリーダーはこれらを取りまとめて、全クラスの時間割や授業担当者の全体的な調整、出席状況や成績分布状況の分析等を、チーム会の運営を通して行っている。</p> <p>更に、チームリーダーやユニット統括教員らは、①ビデオ教材やe-learning教材の開発、②全クラス共通の期末試験とその実施マニュアルの開発、③愛大GPの支援を受けた教科書の開発、④学生支援センターや共通教育チームと連携した不登校予防に向けた活動、⑤大学教育実践ジャーナルにおける論文2編の発表、等にも取り組んでこられた。</p> <p>以上の成果は、多くの教員や事務職員が関与するものであるが、その中でも一際チームリーダーとユニット統括教員のご尽力によるところが大きい。よって、この6名の方々を共通教育貢献賞「授業方法の開発又は優れた授業の実践」の該当者として選定した。</p>